

プログラムノーツ

シューマン：3つのロマンスop.94

もともとはオーボエとピアノのための作品で、現在はヴァイオリンでも広く演奏されています。3曲はそれぞれ穏やかな抒情、情熱的な躍動、そして温かな歌心という異なる表情を持ち、詩を読むような繊細な世界を描きます。シューマンならではの豊かな感情と美しい対話が魅力です。

ブラームス：F.A.Eソナタ第3楽章

F.A.E.ソナタは、シューマンが友人アルベルト・ディートリヒとヨハネス・ブラームスとともに作曲したヴァイオリンソナタで、3人の共通の友人であるヴァイオリニストのヨーゼフ・ヨアヒムに献呈されました。曲名のF.A.E.とはヨアヒムのモットーである「自由だが孤独に」(Frei aber einsam)の頭文字をとったものです。ドイツ音名のF・A・Eはそれぞれイタリア音名のファ・ラ・ミに対応し、この音列が第3楽章 スケルツォの重要なモチーフとなっています。

ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第3番ニ短調op.108

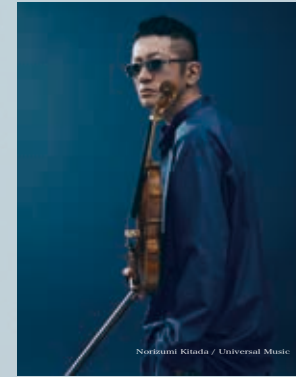
ブラームスの音楽について話すと、なんと言っても4曲の交響曲が中心に来ます。ブラームスは、ベートーヴェンの重圧に苦しみ、交響曲第1番 (op.68) を作るのに19年 (1857-1876) を要したのは有名な話です。その後は肩の荷がおりたように、第2番 (op.73、1877)、第3番 (op.90、1883)、第4番 (op.98、1885) と立て続けに作曲を終えました。第1番を作るために、ピアノ協奏曲第1番 (op.15、1857) やドイツレクイエム (op.45、1868) 等、交響曲と言ってもよい重厚な曲を練習として作曲した上でのことです。しかしヴァイオリンソナタの3曲には、このような苦労はなく、第1番 (op.78)、第2番 (op.100)、第3番 (op.108、1888) とすべて交響曲第1番作曲後の、伸び伸びした心境のもとでの創作であったろうと察します。このため3曲とも、ロマン派を代表する、しかし同工異曲でないヴァイオリン・ソナタとなっています。(磯部記)

参考文献：特記のあるもの以外は、Wikipedia、Chat GPT、Perplexityを参照した。

プロフィール

石田 泰尚【ヴァイオリン】ISHIDA Yasunao

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018 年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの模様は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター (2025年4月よりソロコンサートマスター) を兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。ミューザ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を2022年から隔年で開催。2024年には石田組でNHK「あさイチ」に出演、日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。同年リリースされた『石田組 結成10周年記念 2024・春』が第39回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。2025年12月より川崎市市民文化大使に就任。2026年10月11日には石田組で大阪城ホール公演が予定されている。使用楽器は 1690 年製 G.Tononi、1726 年製 M.Goffriller。



岡本知也【ピアノ】OKAMOTO Tomoya

国立音楽大学附属音楽高等学校を経て同大学を卒業し、渡仏。パリ地方音楽院上級課程ピアノ科をディプロムを取得して卒業。帰国後、国立音楽大学大学院音楽研究科修士課程を修了。ソロはもとより、アンサンブルピアニストとして内外の演奏家との共演を重ねる。第10回神戸国際フルートコンクールをはじめ、日本木管コンクール、日本フルートコンヴェンションコンクールでは公式伴奏者を務める。また、東京フィルハーモニー交響楽団には鍵盤楽器奏者として客演しているほか、映画やドラマのサウンドトラックやTV-CMなど、スタジオワークにも参加している。第19回かながわ音楽コンクールユースピアノ部門にて特選、第14回ブレストピアノ国際コンクールでは審査員満場一致の一等メダルを獲得。第34回霧島国際音楽祭賞受賞。第21回友愛ドイツ歌曲コンクールにて優秀共演者賞、第12回秋吉台音楽コンクール室内楽 (二重奏) 部門では第1位と山口県知事賞を受賞。永田純子、平澤一博、安藤丘、三木香代、イヴ・アンリ、練木繁夫の各氏に師事。現在、東京藝術大学音楽学部管打楽科伴奏助手、国立音楽大学ピアノ科及び、同大学院修士課程非常勤講師。



孤高のヴァイオリン

石田 泰尚 リサイタル

2026年7月24日(金)

開演：14:00

小田原三の丸ホール大ホール

Rzp LLC主催 次回演奏会
2027.3. 20 (土)

ベートーベン没後200年に寄せて
小田原三の丸ホール大ホール